

市議会だより

大月市

令和2年2月29日発行 No.157

特集 対談／大月みらい協議会と市議会



CONTENTS

- ・特集（対談）
【大月みらい協議会と市議会】 P. 2～
- ・令和元年第7回（12月）市議会定例会
（主な議案の内容） P. 4～
- ・議決結果等一覧表 P. 6
- ・代表質問／一般質問 P. 7～
- ・議場見学・議員合同研修会 P.15
- ・議会日誌 P.16

議場見学（学童クラブやえざくら）

特集

人口減少問題を考える

対談 大月みらい協議会と 大月市議会

大月みらい協議会（正式名称 大月市人口問題・地域活性化を考える市民会議）は、平成26年12月に発足し、22名の委員で構成されています。現在、ふるさと教育について、3つのグループに分かれて活動し、行政に提案をしています。今回は、みらい協議会の活動内容と人口減少対策について懇談しました。



総務産業常任委員会

・鈴木基方委員長 ・西室 衛副委員長
・奥脇一夫委員 ・鈴木章司委員
・志村和喜委員 ・棚本晃行委員

・【学童クラブグループ】大月には7カ所の学童クラブがあります。今年はイベントを各学童クラブで行いました。この間は、皆さんのご協力をいただいて議会・市役所・消防署の見学をさせていただきました。地域の中で子供たちが遊んだりということが少なくなっている中で、学童クラブは学校教育とは違い、学童が地域とのかかわりを作り出せる場ではないかと考え、これからは学童クラブを通して地域の方を巻き込みながら、子供たちの夢とか未来を考える手立てにしたいと考えています。

出生数の減少に歯止めを、
共同歩調で考えねばならない

【市議会】

前例のないことをやっていくのが一番

【大月みらい協議会】

Q ふるさと教育について、今までにどのようなことについて取り組んできたのかお聞きます。（市議会）

なわわっているインターンシップという職業体験の前に企業を紹介する仕組みとして、「みらい夢カード」を作りました。子供たちがそれを見て、こんな会社があるのかと行って盛り上がってくれて、家に帰っ

て話をし、これは親が見てもいいかと問い合わせがありました。次に、インターンシップの前に職業講話を行ったところ、また子供たちが興味を示し、家に持ち帰って話すと親は、その講話に我々も参加していいのかという話になって盛り上がるということで、子供たちをきっかけに大人たちも地元企業に着目することになりました。この取り組みは全国でも大月だけのようで、新しい大月のPRにもなるし、まちの活性化のきっかけとなればと思っています。

・【情報発信グループ】事業のテーマは情報発信で、きらきら輝いて「仕事人」として活動している大月の人がいるということを皆に知ってもらえれば、子供たちもそういう人をみて自分もこういう大人になりたいなど、自分たちの夢を想像するのではないかと。そういう人をどんどん発掘しようということから始まっています。この情報は市内だけの拡散ではもったいない。これは模索中だが、インターネットを使って大月市外にも「仕事人」記事を発信したいと、いろいろ挑戦しながら取り組んでいます。

Q 皆さんの取り組みを発信することが非常に大事だと思っています。これから、どのような媒体を使い、どのような発信を考えているのかお聞きます。（市議会）

・具体的には、ブログサービスを考えています。例えば、今ホテルを建設中ですが、それを市として情報発信すると個人企業の応援となり、批判を浴びるのではないかと。いうこともありませんが、大月市にとっては有益な情報です。これを発信するグループが無いのはもったいないので、市の利益を考えながら動ける組織が必要ではないかなというのが、私たちが今目指しているところです。

・みらい協議会の会議では、出生数とか女性活用とか、もろもろの課題を出して、それについて話し合っています。これから大月を変えていくなら前例のないことをやっていくのが一番いいのかなと私どもは思っています。

かお聞きます。（市議会）

・やはり子供を産むのは女性ですから、女性がもっと活躍できるように、会社の中でもそういう立場を設けたり、もっとやりやすいような雰囲気を作っていくかなと、人口とかそういうことから見ると、女性が市内に一人でも二人でも残ってもらえるようにしていかなければ、そういうところに繋がらないのではないかと考えています。

・本日は貴重なご意見をありがとうございました。我々も刺激を受けました。これで終わりではなく、意見交換会を年4回やっていきますが、それ以外にもできますので、皆さんに時間を作っていたら、我々にまた提案していただければそれを受けて、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。大月みらい協議会の皆様のご活躍を期待申し上げます。



大月みらい協議会の代表の皆さん

Q 今期小林市長から人口問題に関して、出生数の減少に歯止めをかけることに対してのお願いをされていると思います。議会としても大変重要な問題であり、我々も共同歩調で考えていかなければならない問題だと認識しています。皆さんの今期の任期はあと1年半ですが、この任期の間にもどのように取り組んで行くのか

・本日は貴重なご意見をありがとうございました。我々も刺激を受けました。これで終わりではなく、意見交換会を年4回やっていきますが、それ以外にもできますので、皆さんに時間を作っていたら、我々にまた提案していただければそれを受けて、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。大月みらい協議会の皆様のご活躍を期待申し上げます。

こんな事が決まりました

11月29日～12月19日（21日間）

市長提出

- 報告……………1件
- 条例案件……………5件
- 補正予算案件……………14件
- 人事案件……………1件
- その他の案件……………1件
- 議会提出
- 選挙……………1件

今定例会の議案



主な議案の内容

条例

- ◎大月市シルバーお出かけパス条例中改正の件
- ◎大月市障害者お出かけパス条例中改正の件

お出かけパス料金改正案を否決

- 利用者負担金（年間パス）
- ・現行 5,000円
- ・改正案 6,000円
- 利用者負担金（半年パス）
- ・現行 2,500円
- ・改正案 3,000円
- シルバーお出かけパスと障害者お出かけパスは同料金利用ルート
- ・現行 大月市内

・改正案 小菅の湯まで延長

※否決により現行どおり。

予算（補正）

- ◎令和元年度 大月市一般会計補正予算（第3号）

◇歳出

- 台風19号災害復旧費 3億5,209万円
- ・農地農業用施設災害復旧費 8,600万円
- ・林業施設災害復旧費 1億9,200万円
- ・道路橋梁等災害復旧費 5,476万円
- （土砂撤去等は市単独）
- 今回は激甚指定を受けたため、通常の補助率より嵩上げされています。

◇歳入

- ふるさと応援寄附金（災害支援） 180万円

その他

- ◎契約締結の件（大月市防災行政無線デジタル化整備

工事）

防災行政無線デジタル化整備工事の契約を締結

- ◎工事名 大月市防災行政無線デジタル化整備工事
- ◎工事場所 大月市全域
- ◎契約金額 6億2,403万円
- ◎工事概要
- ・親局設備 1式
- ・中継局・屋外拡声子局設備 187局
- ・戸別受信機 800台
- ・情報連携システム 1式
- ・工事費用 1式
- ◎契約の相手方 沖電気工業株式会社首都圏支社
- ◎契約の方法 一般競争入札

人事

- ◎大月市監査委員の選任について同意を求める件
- 西室和弘氏が再任されました。

委員会審査の様子

総務産業常任委員会

契約締結の件（大月市防災行政無線デジタル化整備工事）について

- ・契約方法 一般競争入札
- ・入札参加 4社
- ・落札率 45・14%

Q 5号様式（下請け計画）は、入札の際に出さなければいけないものなのか。

A 5号様式については、入札時に業者名まで入れる必要はないことにしています。

Q 入札当日に1社（落札業者以外）が業者名まで出しているという現状もある。

A その1社についても、業者名まで記入する必要はないと話をさせていただいています。ただし、既に決まっているのであれば記載して

も構いません。と伝えてあります。

Q 落札業者が今後、市内業者を使うかわからないかが一番の問題なのか。それとも、市内業者の育成もあるけれど価格なのか、どちらが主なのか説明されたい。

A その部分につきまして、は、両方を重視させていただきました。市内業者の育成も市としてやらなければならぬことと思っています。

価格のみでなくそのことも考慮したうえで、一般競争入札の告示をさせていただきました。他の市町村の状況等を確認したところ、低価格の入札であったことにより、市内業者を見つけることができない。市内業者が安い金額で請け負われるようなことがあつては困る。と他市町村から聞かれています。そのこと

も含めた中で、出来る限りという表現をさせていただいていますが、市内業者に多くの工事を請け負っていただきたい。最低でも、個別受信機については、各家庭に入っていくものですので小さな電気業者でもできる工事です。そのことも含めると、市内の業者を使うように指導をしていきたいと考えています。

社会文教常任委員会

大月市シルバーお出かけパス条例中改正の件について

【委員の意見（反対）】

財政再建に対して貢献度は低いと思います。制度をスタートさせた時の目的が、高齢者の社会参加や健康づくり増進のためということが言われています。値上げをすることは、外出する機会の拡大にブレーキがかかるような役割を果たしてしまうと思います。

【委員の意見（賛成）】

これは10年かけての利用者負担金の見直しです。この補助に対する市の割合が4分の3ということ、本来であれば市が補助するべき高額は2分の1程度であるべきです。購入しているメンバーが同じということにします。お出かけパスを利用しない人はどうなのか。ここはやはり、応分の負担を求めるための見直しであり、今回の見直しは、やむを得ないと思います。

【委員長裁決】

採決の結果、賛成者3名、反対者3名、同数になりました。したがって、大月市議会委員会条例第17条の規定により、委員長裁決となります。委員長としては、財政に及ぼす影響は小さいという反対意見、また、賛成意見も理解出来ましたが、市長は、ここでまだ4カ月を迎えたばかり、値上げはもう少しじっくり考えるべきだと思うので、この議案については否決とします。

大月市障害者お出かけパス条例中改正の件について

採決の結果、シルバーお出かけパスと同様になり、否決となりました。

- ◎シルバーお出かけパス交付申請件数の推移
- ・平成19年度 3千円 1、841人
- ・平成22年度 5千円 1、685人
- ・平成30年度 5千円 1、104人



市政を問う

12 月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

(1) 山田政文議員 (大月改新の会 & 公明) 8 ページ

- ①有害獣対策予算の増額等について問う
- ②市役所の新築移転計画はどのように進んでいるか

(2) 西室 衛議員 (大月改新の会 & 公明) 関連質問 9 ページ

- ①避難所運営マニュアルに改善する点はなかったか

(3) 安藤久雄議員 (大月改新の会 & 公明) 関連質問 10 ページ

- ①七保町駒宮地内の道路の復旧計画は

(4) 鈴木基方議員 (山と川の街大月) 11 ページ

- ①実情に合った形への防災計画の見直しが必要
- ②岩殿山正規登山ルート of 整備計画は

一般質問

(5) 藤本 実議員 12 ページ

- ①台風19号での深城ダムの対応は
- ②立地適正化計画 3 点セット整備の概算費用は

(6) 棚本晃行議員 (山と川の街大月) 13 ページ

- ①認知症施策推進計画の策定を提案する
- ②受益者負担金の適正化に対する指針の作成を提案する

(7) 小原文司議員 (山と川の街大月) 14 ページ

- ①令和 2 年度の予算編成方針は

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録 (3 月上旬発行予定) を図書館及び市のホームページ (<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>) で閲覧することができます。

令和元年 12 月定例会

議決結果等一覧表

賛成 ○ 反対 ● ※萩原剛 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	相馬保政	奥脇一夫	小泉三雄	西室 衛	小原文司	鈴木章司	藤本 実	山田政文	相馬 力	鈴木基方	安藤久雄	志村和喜	棚本晃行	結 果
報告	専決第 6 号	大月市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例														承認
	専決第 7 号	令和元年度 大月市一般会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決第 8 号	令和元年度 大月市簡易水道特別会計補正予算 (第 2 号)														
条例	第 81 号	大月市シルバーお出かけパス条例中改正の件	●	○	○	●	○	○	●	●	○	○	●	●	○	原案 否決
	第 82 号	大月市障害者お出かけパス条例中改正の件	●	○	○	●	○	○	●	●	○	○	●	●	○	
	第 83 号	大月市下水道条例中改正の件														原案 可決
	第 84 号	大月市火災予防条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 94 号	大月市職員給与条例中改正の件														
補正 予算	第 85 号	令和元年度 大月市一般会計補正予算 (第 4 号)														原案 可決
	第 86 号	令和元年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 87 号	令和元年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 88 号	令和元年度 大月市簡易水道特別会計補正予算 (第 3 号)														
	第 89 号	令和元年度 大月市下水道特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 90 号	令和元年度 大月市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)														
	第 91 号	令和元年度 大月市介護サービス特別会計補正予算 (第 1 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 92 号	令和元年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 95 号	令和元年度 大月市一般会計補正予算 (第 5 号)														
	第 96 号	令和元年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算 (第 2 号)														
	第 97 号	令和元年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)														
その他	第 98 号	令和元年度 大月市簡易水道特別会計補正予算 (第 4 号)														原案 可決
	第 99 号	令和元年度 大月市下水道特別会計補正予算 (第 2 号)														
	第 100 号	令和元年度 大月市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)														
人事	第 93 号	契約締結の件 (大月市防災行政無線デジタル化整備工事)	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	原案 可決
選挙	第 101 号	大月市監査委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
選挙	選挙第 7 号	大旅外二恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選



大月改新の会 & 公明
山田 政文

Q 有害獣対策予算の増額等について問う

A 増額については、意向や財源などを踏まえて対応する

問 イノシシや鹿が増えているが、捕獲対策経費の増額と有効な対策をすべきと思うが、市の考えを示してください。

答 産業建設部長

本市では、平成26年度から有害鳥獣に対応するため、

たほかに国からの交付金としまして約120万円が助成されています。実施隊が日ごろから積極的に活動に取り組んでおられることや、住民からの強い要望を受ける中、管理捕獲費は3年前から毎年50万円ずつ増額してまいりました。今後、これらの獣害対策費の増額につきましては、実施隊の意向や財源などについて十分に協議して対応してまいりたいと思います。

これまで猟友会、農業代表者、森林組合、山梨県から成る大月市鳥獣害防止対策協議会で各関係者の連携による対策を講じてきたところですが、それよりも農地を囲う、周辺の草刈りを行う、誘因する果実、残飯、お供え物は放置しない等を取り組むことで被害は軽減できると考えられます。

市としましては、情報提供を初め、それぞれの組織を通じて、これまで以上に住民と猟友会をつなぐ役目を担ってまいりますので、ご協力をお願いします。

Q 市役所の新築移転計画はどのように進んでいるか

問 市役所本庁舎は老朽化が進み地震などに対して安全上問題があり、セキユリテイ面からも建て替えは喫緊の課題である。今後、市庁舎の建て替えをどのように進めていく考えなのかお答えください。

答 総務部長

内検討委員会を立ち上げて、複合施設としての検討を行っています。

また、大月駅北側整備を計画する中で、基本構想を策定しましたが、北側にある民間企業から施設の使用申し出があったことから、移転候補として現在検討しているところです。

問 市役所移転計画の実現性についてですが、市役所本庁舎については、昭和34年に建設、58年が経過しており、移転や建築等を検討しています。昨年度、大月市新庁舎建設基本構想を国の補助金を受けて策定し、庁



大月改新の会 & 公明
西室 衛

Q 避難所運営マニュアルに改善する点はなかったか

A 避難所開設の研修や訓練を実施することで防災対策のレベルアップを図る

問 「台風19号の教訓をどう生かすか」に関連して、はじめに、本年10月に大月市に接近しました台風19号では過去に例がない、約600名の方が避難されました。各避難所での運営はどのように行われたのでしょうか。

また、避難所の運営には、マニュアルがあると思いますが、改善する点はなかったのでしょうか。

「台風19号の教訓をどう生かすか」のうち、はじめに「避難所の運営はどのような行われたのか、またマニュアルに改善する点はなかったのか」についてです。

答 市長

避難所は、指定避難所8カ所、自主避難所14カ所を開設し、避難者数は、最大600人を超えることとなりました。今回の避難所の運営についてですが、指定避難所については、原則、市の職員を配置し、その中で、猿橋小学校につきましては、地元自治会に運営を

していただきました。また、自主避難所につきましては、全て地域自治会や防災会の運営となっています。

各避難所とも自治会・防災会・消防団等にご協力いただく中でスムーズに運営できたことに感謝申し上げます。今回の台風における避難所は、長期化することなく、13日の午前中には避難所を閉鎖しました。

また「大月市避難所運営マニュアル」については、避難所での生活が、長期化した場合を想定しています

が、その中において、今回の場合は、避難者名簿の作成等マニュアルに沿った対応をさせていただきました。

避難所においては、臨機応変な対応が必要であり、社会情勢の変化により、避難者から求められる対応も様々なものでした。

今後は、マニュアルの見直しも含め、職員や自治会等の避難所開設における研修や訓練を実施することにより防災対策のレベルアップを図ってまいりたいと考えています。

次に「避難所での運営に保、保育環境等に対し女性の声をどう反映して行くのか」についてです。

避難所での生活が長期化した場合、避難者の協力を得る中で、各避難所に避難所運営協議会を立ち上げ、避難者が避難所の運営を行うこととなります。この場合には、段ボール等での間仕切りの設置など、各避難所施設の状況に応じた生活環境を整えなければならないと考えています。

また、授乳等保育環境等についてですが、一部の避難所では、女性の着替え場所の確保等を行いました。初期段階であったことから、十分な環境整備までには、至っておりませんでした。

乳幼児につきましては、職員が、保護者に直接声掛け等を行い、困ったことがあったら職員に相談するよう伝えさせていただきました。今後の避難所運営では、女性や乳幼児の対応についてこの経験を生かしていきたいと考えています。



大月改新の会&公明
安藤 久雄

Q 七保町駒宮地内の道路の復旧計画は

A 査定終了後、直ちに工事発注を行い、一日も早い復旧を目指しています

問 台風19号の教訓を今後どう生かしていくかに関連して、質問をします。

初めに、避難所として大月市営住宅を今後活用する考えはあるのでしょうか。

すが、水道、トイレ、電気など、避難所を設営するときに急遽対応できるのか大変心配なところがあります。そこで、それらの施設は使用可能な状態に今あるのか、お答えください。

次に、閉校した学校、体育館等々、現在活用されていないと思いま

和式トイレになつてい
ると思います。

そこで、お年寄りの方々や体の不自由な方が利用するには、洋式トイレを設置する必要がありますと思いますが、如何でしょうか。

最後に4点目として、生活道路で通行ができない箇所が七保町駒宮地内に2カ所ありますが、その取り組みがどうなっているのか。2カ月経ったきょうもまだ何の動きも見えませんが、地域の皆さんの期待に大月市役所あるいは担当の皆さんのご協力をお願いしたいというところで、その取り組みについて質問します。

答 市長

台風19号の教訓をどう生かすかについてのうち、初めに避難所として市営住宅を活用する考えはあるかについてです。避難所として市営住宅を利用することは

難しいと考えています。大月市地域防災計画では、住宅を失った被災者に対し、市営住宅の空き室につきま

しては、応急仮設住宅として利用することとしていますので、ご理解をお願いします。

次に、閉校した施設は通常利用されていないと思うが、トイレ等の施設は使用可能なのかについてです。閉校した学校について、電気、水道は一部を除き利用可能となっており、トイレについても利用可能であります。しかし、水道の利用は、安全面の確認ができていませんので、近くの防災倉庫等から飲料水を用意することとなります。

次に、避難所として利用する施設のトイレを洋式に改修する必要があると思うがについてです。避難所である体育館等のトイレを全て洋式化することは、予算や構造上、難しいため、今後和式トイレに置くだけで工事等の必要がない簡易設置型洋式トイレの利用を検

討してまいりたいと考えています。

次に、生活道路で通行できない箇所があるが、その復旧見込みはについてです。駒宮地内にある被災した市道2カ所については、現在も車両の通行ができない状況です。ご不便をおかけしている方々には、現場にて工事に関する丁寧な説明をし、ご協力をいただいているところです。現在市が国に対し、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担申請を行い、国庫補助事業を活用した被災箇所の復旧に向けた協議を進めています。今週には、財務省及び国土交通省の査定官が来県し、被災箇所の災害査定を行う予定です。

なお、査定終了後には、直ちに工事発注を行い、一日も早い復旧を目指していきますので、今後もご理解とご協力をお願いします。

代表質問



山と川の街大月
鈴木 基方

Q 実情に合った形への防災計画の見直しが必要

A 早急に見直し作業を全庁体制で進めてまいる

問 学校跡地の活用の手続の迅速化のため、また災害自体も甚大化しており、実情に合った形への防災計画の見直しが必要だと思いが。

答 市長

指定避難所に指定されている避難所については、防

災上、重要施設であると認識しています。

しかし、施設の老朽化等を考えると、安全な指定避難所、地区避難所の見直し、再編等の検討をしなければなりません。以前よりご指摘をいただいていた大月市地域防災計画につきましては、早急に見直し作業を全庁体制で進めてまいり

ます。

再質問

問 指定避難所、指定避難場所にもなっている総合福祉センターを、福祉避難所として、どのように運営するか。また、地震などの際の避難場所は。

答 総務管理課長

今回の台風19号における他市の状況の中で、本市と同様に指定避難所と福祉避難所が併設で指定されており、避難者が多く、福祉避難所としての機能が果たせなかった事例を聞いています。

今後、他市の事例や意見を聞く中で適切な運用等を検討してまいります。次に、地震などの際の避難場所についてです。今後地域防災計画を見直す中におきまして、検討してまいります。

Q 岩殿山正規登山ルートの整備計画は

A 最小限の経費で安全が確保できる計画を検討

問 岩殿山正規登山ルートの整備計画は、どのようになっているのか。次に「甲州道中桃太郎伝説御朱印巡り」など、甲州街道を歩く観光客のために案内板設置を考えたかどうか。また、株式会社官民連携事業研究所の活用についての説明を。

答 産業観光課長

強瀬ルートの復旧について、現在山梨県と検討を行っているところですが、解決策が見出せない状況です。今後は、詳細な現地調査を行い、最小限の経費で安全が確保できる計画を検討し

ていきたいと考えています。次に、甲州街道を歩く観光客の方はふえていますので、各宿場の内容を説明する案内板についても教育委員会と連携して作成し、設置場所や所有者の意向を伺う中で整備を進めてまいりたいと考えています。

次に、株式会社官民連携事業研究所と連携することで観光面のみならず、さまざまな提案を受ける中で、本市にとって最良の方策を選択し、持続可能なまちづくりを進めることができますものと強く期待しています。



藤本 実

Q 台風19号での深城ダムの対応は

A 結果的に緊急放流を実施することになった

問 10月12日から13日にかけての深城ダム1時間ごとの放流量表を見ると、午後5時の時点では、毎秒3立方メートルでしたが、午後10時をピークに毎秒100立方を超える放流量が6から8時間続いています。結果的にこの放流により引き起こされた流域の被災をどのように承知していますか。洪水調整機能を維持するためには、深城ダムにとどまらず、上流の東京電力葛野川ダムにおいても協定を交わし、事前放流を最大限していただくことが必要です。

答 総務部長 台風の接近により、深城ダム管理事務所では、利水のための放流設備を利用して、10月9日、午前10時からあらかじめ放流を行い、ダム貯水池の水位の低下を図る運用を行いました。台風の接近に伴う降水に対し、ダムの空き容量に流入量の多くを貯留していましたが、記録的な大雨であったため、12日、午後7時25分に非常用洪水吐から降雨量と同程度の放流を開始することとなりました。

Q 立地適正化計画3点セツト整備の概算費用は

A 大月駅南北自由通路の整備費用については、条件等により大きく変動する

問 立地適正化計画は、市道大月賑岡線の拡幅事業に対して45%の国補助を受けるために始めましたが、市道拡幅15億円、駅前広場1億円、南北自由通路20から35億円が3点セツトとされ、15億円が36から51億円に整備費が拡大しました。

答 市長 3点セツト整備の概算費用については、市道大月賑岡線の拡幅については、約15億5,000万円です。また、大月駅北側駅前広場は、約1億円です。大月駅南北自由通路の整備については、類似事例の概算費用を参考額として把握していますが、JR東日本八王子支社との基本調査設計協議前の状況であり、大月駅固有の設計条件、補償条件等により費用が大きく変動する可能性があります。

半橋上駅舎型は、駅利用者の利便性を重視するJR東日本の要請として協議をする予定としています。大月市としては、最も費用を抑えた整備手法である単独自由通路を希望し、協議をする予定としており、今後議会や市民の皆様のご意見を伺いながら、慎重に協議検討を進めてまいります。



山と川の街大月
棚本 晃行

Q 認知症施策推進計画の策定を提案する

A 第8期介護保険事業計画において検討してまいります

問 本市における認知症施策の強化は重要課題であり、認知症施策推進計画を介護保険事業計画の中に位置づけ、策定していくことを提案しますが、市の考えをお伺いします。

答 市長 認知症施策を総合的に推進する計画の策定についてです。患者の増加に伴い、その対策は重要と認識しているところであり、現在準備を進めています。令和3年度から5年度を事業期間とした第8期介護保険事業計画において検討してまいります。

答 市長 受益者負担の適正化に対する指針につきましては、さまざまな自治体で策定されています。

Q 受益者負担金の適正化に対する指針の作成を提案する

A 検討委員会の設置により、検討をしてまいります

問 行政サービスの使用料について、市民の皆様と問題意識を共有しながら合意形成に努めていくことが必要であり、適正な統一基準を設け、継続して安定した公共サービスの提供を可能とするためにも、本市において受益者負担金の適正化に対する指針の作成を提案しますが、市の今後の方針、考えをお伺いします。

答 市長 使用料、手数料、負担金等については、市民の皆様に公平、公正かつ適正であることを透明化することが非常に重要であると考えています。しかしながら、受益者とは、公共サービスの提供を受ける者とされ、公共施設の使用料等や住民票、印鑑証明の交付手数料、また公共事業により特別の利益を受ける一部の市民など、各分野にそれぞれの事情があると考えられます。

今後、指針の策定に当たっては、住民負担をお願いする場合もありますので、市民の代表者や学識経験者などによる検討委員会の設置により、幅広く、十分な議論を重ねる中で、他市町

村の事例を参考にしながら慎重に検討を進めてまいります。

その他の質問

認知症対策について

問 高齢化と認知症の将来推計について

問 認知症に対する正しい知識と理解の普及啓発について

問 認知症の予防について

問 介護者への支援について

問 早期発見、早期診断の体制と連携について

問 持続可能なまちづくりに

問 公共施設マネジメントについて



山と川の街大月
小原 丈司

Q 令和2年度の予算編成方針は

A 歳入に見合った歳出が基本であるという認識

問 令和2年度の予算編成方針ですが、今現在その作業を進められていると思います。そこについてお聞きしたいと思います。

答 市長 令和2年度の予算編成は、歳入に見合った歳出が基本

であるという認識のもと、一般財源ベースで昨年度以下とすること、既存事業につきましては、ゼロベースで見直しを図り、緊急性や費用対効果の低い事業については、廃止、縮小、再構築を徹底することなどを各課に依頼したところです。9月中旬に各課から予算要求書が提出され、10月より

事務ヒアリングを行っています。今後は、県主催の予算説明会において提出されます各種資料に基づき、2月初旬には編成作業を完了する予定としています。予算の総額及び主要事業等につきましては、予算編成作業を完了した後、3月定例会に予算案件として提出したいと考えています。

再質問

問 ここで初めての予算編成作業を行っていると思います。緊縮型も今の答弁でわかります。しかし、建設課の機械は何年経過しているのか。あの機械は危くないのか。

答 建設課長

建設課では、作業用の車両が3台あります。3トンダンプ、軽トラのダンプと、ご質問のパワーショベルがあります。3トンダンプに

つきましては2年ほどの経過、軽トラのダンプにつきましては5年ほど経過しています。2台とも比較的新しい車両です。パワーショベルにつきましては、平成3年度購入の車両ということで、28年経過しています。



代表質問・一般質問についての議員間の申し合わせについて

・代表質問の持ち時間は、答弁を含め基本は60分以内とするが、会派の所属議員が2人以上の場合は1人10分を加え、2人会派70分、3人会派80分、4人会派は90分とし、1人の持ち時間は60分以内とする。代表質問の残り

時間は会派の関連質問及び個人質問に充てることができる。
・一般質問は答弁を含めて1人40分以内とする。
・関連質問も通告書の提出を必要とする。

議場見学

11/5・20 学童クラブやえざくら

大月みらい協議会の活動（ふるさと教育）の一環として、学童クラブの子どもたちが、議場等の見学をしました。議場では、議長席に座り、マイクで自己紹介等を行いました。



12/9 市政モニター

令和元年度第1回市政モニター会議が行われ、市議会を身近に感じてもらうため、市政モニターの皆さんが市議会の概要について研修し、質疑応答や議場の見学をしました。



山梨県市議会議長会（後期）議員合同研修会



山梨県市議会議長会（会長 大月市議会議長 萩原 剛）は、2月4日に後期の議員合同研修会を開催しました。県内13市議会の議員212名（大月市議会議員12名）、及び事務局職員が参加し、大月市出身の元プロ野球選手・アテネオリンピック日本代表の小林雅英氏を講師に迎え「野球と地域と私」をテーマに講演をしていただきました。



議会日誌

あなたも
本会議を傍聴しませんか

11月（後半）	
14日	地方議会活性化シンポジウム 2019
18日	令和元年第3回山梨県東部広域連合議会 11月定例会
19日	議員定例懇談会
20日	令和元年第3回東部地域広域水道企業団議会定例会
22日	議会運営委員会
25日	令和元年11月大月都留広域事務組合議会定例会
29日	全員協議会
	令和元年第7回（12月）市議会定例会開会
	議会運営委員会

12月	
9日	総務産業常任委員会
	市議会広報委員会
10日	社会文教常任委員会
16日	代表質問・一般質問
19日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和元年第7回（12月）市議会定例会閉会
20日	意見交換会（大月みらい協議会と市議会）
23日	大月市監査委員選任証書交付式

1月	
21日	新年互礼会
	議員定例懇談会
23日	関東市議会議長会第2回支部長会議
30日	山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会
31日	市議会広報委員会

2月（前半）	
4日	令和元年度山梨県市議会議長会（後期）議員合同研修会
	第35回山梨県市町村自治講演会
5日	全国市議会議長会第218回理事会
	全国市議会議員互助会第3回代議員会
	全国市議会議長会第108回評議員会
12日	全国高速自動車道市議会協議会第2回理事会
	全国高速自動車道市議会協議会第46回定期総会
13日	全国広域連携市議会協議会第51回総会

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp



委員長	鈴木 基方
副委員長	藤本 実
委員	相馬 保政
委員	安藤 久雄
委員	志村 和喜
委員	棚本 晃行

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。
詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

3月定例会の日程（予定）

- 開会日 2月25日
- 代表質問 3月16日
- 一般質問 3月17日
- 閉会日 3月19日

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

令和2年最初の議会だよりの発行です。
働き方や学び方など、社会が急速なスピードで変化をしています。
この変化に対応し、少子高齢化、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを進めていくには、市民の皆様と対話をし、共に新しい価値を創る共創が必要不可欠です。
市民の皆様と幅広く意見を交わし、開かれた議会を目指して、積極的な情報発信に取り組んでまいります。
（担当 棚本晃行）

Editorial note